

報道関係各位

【武蔵野美術大学通信教育課程】2023年度イメージポスターを公開 ～テーマは「浮遊するかたち」～

武蔵野美術大学（学長：長澤忠徳 / 通信教育課程課程長：吉川民仁）は、2023年度通信教育課程のイメージポスターおよびコンセプトを公開しました。イメージポスターのアートディレクターは、大原大次郎氏です。大原氏は、造形学部基礎デザイン学科卒業生で、タイポグラフィを軸とした制作において活躍されており、東京2020公式アートポスター20作の一つを制作したデザイナーです。

テーマとコンセプト

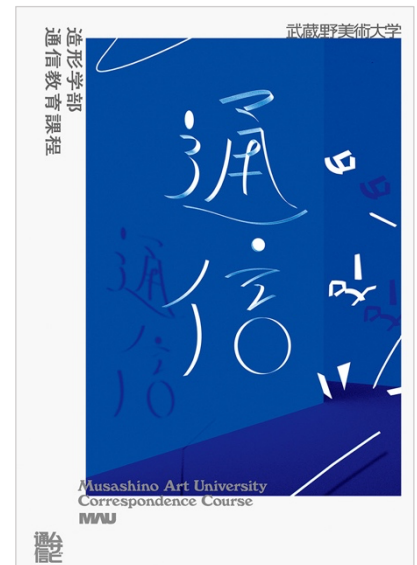
■ テーマ

浮遊するかたち

■ コンセプト

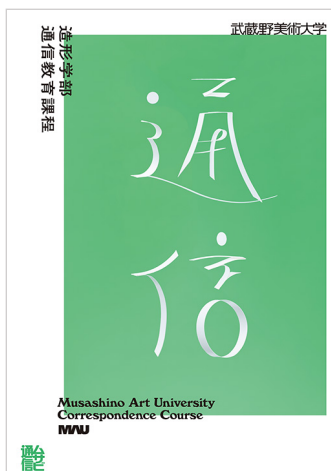
「通信」という文字のエレメントが、各々意思を持って空間を浮遊するようなビジュアルを、2020年から連続したシリーズで制作しています。今年は単色印刷の世界の中のような、青いマットな空間に白い文字のエレメントを配しています。本文の扉ページも、表紙とひとつながりの世界になっていますので、ぜひ合わせてお楽しみください。

（アートディレクター：大原大次郎）



武蔵野美術大学通信教育課程のイメージポスター

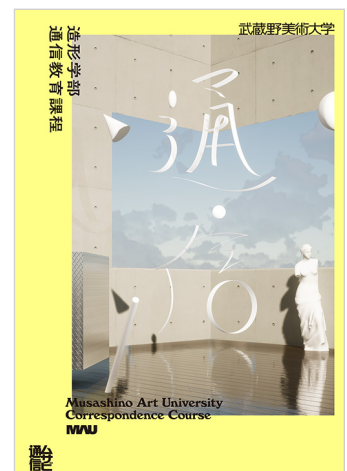
2020年度



2021年度



2022年度



武蔵野美術大学 通信教育課程（ムサビ通信）のご案内

1929年に創立された武蔵野美術大学は、通信制による造形教育も他校に先駆けて開始し、その歴史は、前身の武蔵野美術学校から数えて70年以上の実績があります。



大きな特色は型にとらわれない柔軟なカリキュラムです。

高等学校の卒業生や社会人、主婦、生涯学習を目的とした方など、さまざまな学生が在籍する本課程では、一人ひとりの環境や事情にあわせた「学び」が選択できるような仕組みを整えています。

2020年には新課程をスタートし、時代のニーズに応じたメディア授業なども積極的に取り入れ、さらなる科目の充実化を図りました。

新課程における絵画表現コース、日本画表現コース、デザイン総合コース、芸術研究コースの4つのコースでは、1、2年次に造形全般の基礎的な内容を学び、3、4年次において各コースが専門とする高度な技術を身につけます。

また、専門科目以外にも豊富な科目を揃えているので、意欲のある方には、教養を深めながら、分野を超えた学習も可能となっています。

在学時に培った造形思考と技術は、考えたことを具現化する能力として社会のあらゆる場面で活かされ、現在も多くの卒業生が第一線で活躍しています。

なお、通信教育課程は、2024年4月に通学課程と同じ鷹の台キャンパスへ移転します。面接授業（スクーリング）等は、鷹の台キャンパスを中心に実施します。また、インターネットを利用したメディア授業（オンライン）にもより力を入れて参ります。今後のムサビ通信にご期待ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

武蔵野美術大学 通信教育課程

東京都武蔵野市吉祥寺東町 3-3-7

<https://cc.musabi.ac.jp/>

cc-nyugaku@musabi.ac.jp